

飯能：日和田山（岩トレ）

◆日程 2023年10月29日（日）

◆メンバー L：SD、TY、IZ、KN

◆天候 雨のち晴れ

当山行は当初、広沢寺の岩トレとして計画され、岩トレ後に釣堀で魚釣り（その場で魚をいただく）というレクレーション付きで企画されていた。自分は広沢寺の岩トレの後、この釣堀の前を通り過ぎる度に「釣って食べたい・・・」と思っていたのもあって、参加を決めた。

しかし、残念ながら29日午前中は広沢寺周辺雨予報となったため、雨が避けられそうな埼玉飯能の「日和田山」に急遽、前日変更となったものである。ちょっと残念だったが、釣堀はまたのお楽しみ・・・と気持ちを切替え、岩トレモードへ。実は岩トレは1年半ぶりである。

嫌いな訳ではないが、タイミングが合わなかったのと、ちょっと苦手意識もあり離れてしまっていた。岩トレ参加の動機はもう一つあり、約1か月前に槍ヶ岳に登った時、最後の岩場で恐怖を感じた。いままであまり感じたことのない恐怖感だったこともあり、やっぱり山に行くならある程度、岩トレはやっておかないとダメだな・・・と思い直しての参加である。

かなりの早朝からSDさんに車を出してもらい、各人ピックアップ後に日和田山へ。



道中、ずっと雨で「これは岩濡れててダメかな・・・」と思っていたが、周辺に行くと雨は上がり、道も乾いている様子。更にはすっかり晴れ上がり、若干の涼しさはあるものの、コンディションは良さそうである。日和田山は岩のゲレンデとしてはかなりの人気スポットとのこと。

混雑を予測して早朝に出発したこと、偶然にも朝方の雨が功を奏してか、誰もいない岩場（男岩）に一番乗りだった。広沢寺のような一面のスラブちっくな岩場ではなく、巨大な岩の塊を四方八方から登れるようになっていて、バリエーションに富んでいる感じた。トップロープでウォーミングアップ



がてら何本か上り下りしてるうちに、久々ながら感覚が蘇ってきて、あっという間の1日で、とても楽しくトレーニングができた。

気が付けばさすがの人気スポットだけあって、帰るころにはどんどん他のグループも増えて、いつの間にか岩は何本ものロープを身にまとった状態に。我々は「男岩」を登っていたが、隣に「女岩」と言う岩もあり、さながら「岩道場」と言った風情だ。そんな良い雰囲気の日和田山で充実したトレーニングとなったが、「継続は力なり」で岩トレの食わず嫌い克服を誓う山行になった。

（記：KN）

CT：日和田山駐車場 6:30-日和田山ゲレンデ 7:00 - 日和田山駐車場 14:00